

		2477梅城 甘ハル周辺敵艦艇誘致		
		ロク、大宮島、テアノ空襲爆烈		
7-1	1643	<p>ヌボル島(ビク島西方)に敵次、大爆撃ヲウ</p> <p>✓P-40V瀧島口ス島SE 3' = 於テトビ「雷跡」 2ヲ発見直 = 批准、奇射位置 = 爆雷攻撃</p> <p>次テOH 8ノ僚艇ト協同3回、攻撃ヲ加フ</p> <p>✓日興丸(C貨3098ト)ヌボル島西方ニテ雷撃ヲウ</p>	南西 11chg	<p>击沈確實</p> <p>(長4.5'中1' = 魚雷油湧出)</p> <p>沈没</p>
		<p>且、SSB = 対シ</p> <p>マリアナ方面超撃戦「現配備止及整備完了セル中型トマリアナニテ実施</p> <p>現配備止中作戦終了セルト、11逐次マリアナ方面特殊任務從事中、ト、任務完了次第</p> <p>トラック在泊中、ト、全部内地四航内地在泊止、直 = 被害防止対策 = 着手スハキ旨命令ヲ</p>		
	0250	ヌボル島南北両地区ニ対シ、d×10枚投		
	1450	陸軍報ニ依リ、敵「ヌボル」島ニ上陸ヲ南		詳細不明
				建 冊
	1656	<p>✓V-18「友島」NW 5' = 於テ雷跡発見、直 = 爆雷攻撃 18ヲ投射</p>	内地 21chg	25所到大気泡湧出、击沈確實、11波、高引係中制圧中
	1750	<p>✓水雷艇「雁」ヌボル島ハル周辺ニ於テ、Y1攻撃直 = 爆雷 = 依リ、沈没トヲ発見、連続5回、攻撃ヲ加フ</p>	南西 13chg 1KF	<p>击沈確實</p> <p>幅500m、長500m、軽油油湧出</p> <p>硫黄臭気ヲ感取ス</p>
	1042	硫黄島基地弾薬庫・火災、為爆発		陸攻 = 若干被害ヲ生ス
	1042			
	1452	敵ヲ多数、硫黄島ニ集装		
	千位	大宮島 = 敵投、約90程ヲ集装		
3	1320	<p>✓那霸到底見島 = 向テ航行中、大倫丸(A 6400ト、銅釘石搭載)ニ、奄美大島北方海面ニ於テ敵ト雷撃ヲウ</p>		<p>✓魚雷4本命中、向テ沈没、後2枚ハ、集装止中、後ヲ補充ニ要シ</p>
	2300	<p>✓長崎西方45' = 於テ加茂丸(C 7954ト)及長山丸(C 2733ト)ニ敵ト雷撃ヲウ</p>	内地	兩船共沈没
	0345	父島 = 敵ニ連続延200ト集装、空襲ヲ		

19-17

268

0295

ガハンの準備部隊=與る命令

- 一、米艦、侵攻の依然熾烈なるに際し、本日は、敵の努力、更なる皇軍、真面目に奮闘す
- 二、ガハンの準備部隊、先=訓練所=從て明後7日米艦のボム攻勢=前進一人並つ
- 三人ヲ艦に込め、全員を準備せしむ
- 三、諸隊明後7日0330以降臨時当直、敵のボム攻勢=あり、予らシカ、=向て
- 進出シ米艦の物掃スル、又諸隊、明後日夜以降特=選抜せし挺身部隊
- ヲ敵陣内へ侵入せしめ、司令部、基地、火砲、戦車、飛行機等、ボムテ
- 徹底的=之ヲ破壊スル
- 四、予ら切=諸隊、奮然敵斗ヲ期待シ、挺身、万才ト是圖、断然ヲ祈念シ、予ら士
- 士共=至ス

昭和十九年七月五日

中部太平洋方面艦隊司令部

第二司令官

第六艦隊司令官 高木海軍中將 袂別、呈

ガハンの死守に慶下止、昨日の戦果ヲ親の目撃ニ得ルヲ欣ハ、所在

七艦隊全員及操縦員ヲ率中敵陣=突入ス 萬歳

2200	以後ガハント、連絡杜絶		ガハンの所在不明に到 中部太平洋方面艦隊司令部
6			第六艦隊司令部 第三水雷隊司令部 第一聯合艦隊司令部 第五根拠地隊司令部
	9F司令部(本部=2-F方面作戦=担当) 3-15時 NTFより GKF=3編入 4-9時 7-11時 ボランヤ=非進 4-22 ボランヤ 海上陸		ボランヤ 中隊司令部 陸軍 24大隊 海軍 300名 其他 1300名 (兵艦司令部 及後管隊)
	9F長官 高木中將の奮闘に、夜軍、率 援出也 持久の困難と判断 至るまで快意 1700 迄、毛ツ 荷ス 「進」ヲ 快意= 即 投 擲 ヲ 毒 白 ス 1515、午後連絡杜絶		
7	同日 9F司令部 全「無」に、軽進下 (90kg 軽雷炸薬 長官の 時 胸 中 被 撃 害 1 帯 中 刊)		5月21日 敵、艦砲射撃=依然!
夜	ガハンの敵艦、砲撃=呼ぶに、在 大 砲 的 +X27 以テ、アリート 母 砲 撃	225+	
0320 頃	マラ 西 方 海 面、敵 艦 上 (16S GKF) 相 撃 丸 (GF) の 砲 撃 中、至 波、然 立 攻 撃 中	32dg	
	轟 撃 せ ば、1 号 機、大 砲 撃 ヲ 海 上 へ 後 掃 射	掃 射 不 明	
1615 頃	ボランヤ 海 面、敵 艦 砲 撃 中、高 木 中 將 被 撃 害、奮 闘 受 ヲ		高 木 中 將、同 艦 中、10g (2 發) 小 砲 撃 込、攻 撃 制 止 せ ば、マラ 無 効 果 不 明
	重 砲 隊 司令部、(掃 射) ヲ ト フ		

17-7

290

0297

		積揚U183ハロ+ン作着		同航の7/6 4-19S 74-40E=松ヲ 南航: 5000T級高航1隻ヲ去沈也
	000612	濟南島ヲ探敵ヲ捕提		
	0115 ~0200	佐佐木大尉及野母中(南島南方)方面=敵ヲ20機投半袋投8機		
8	0224 ~0305	八幡川方面敵ヲ半袋投機		
	0500	大宮島=対シド、敵砲撃(?) 伴松梅隊乗口=松ヲ松丸(887T)投 シ、若葉9隻、魚雷4本中2本命中	内地 武向	沈没
	0700	遊撃部隊ハ沖島去表 中城ヲシテ	72カ	=向フ
		GF=松ヲ松丸(215 SF / HTF) 多摩(215 / HTF)ヲ乗		向方面=待機セシムトス
		大宮島の松ヲ(同日)シ2 dx 敵機、航 砲撃ヲシウフ 大々ヲ砲撃、常時在空中 弾着者アリトナリ		在大宮島部隊ハ、上陸地ニ 到リ判断シ陸隊準備=不全 ヲ認メテアリ
9		松丸=島ニ対シ、松丸=砲撃アリ、砲 撃ハ一時流シ著トナレテ、松丸ハ 松ヲ松丸投トナリ		
				連
	1000	松丸北方海面=松ヲ松丸(A 6284*) 使果者 1678名)ハ松丸、常態ヲナリ		沈没 高航 74 (15d) 松丸 ハ松丸、常態ヲナリ 4根方松丸 ハ松丸、常態ヲナリ 2300m 中 15.2' 及 7' 量抽、浮流セテ 没ス
	0300	松丸乗車隊=松ヲ松丸見張所アリ、報告 =松丸、味方松丸1隻(25500T) 敵ハ 1隻去ツ		
		松丸(1K9) CD2(内地) 松丸(A 5819*) ハ同航、尙三隻投及 松丸機外=松ヲ松丸	支即	松丸作中
10		島ハ十日松丸ヲシテ PS 所在部隊全員 ヲシテ、松丸ニシテ松丸ヲ送 テシテシテ		松丸島生存者ハ、高断崖洞窟 等、天険ニシテ松丸ヲシテ ハ松丸、高断崖ニシテ、松丸 松丸 50m 内外、松丸ハ松丸 松丸ハ松丸ニシテ
		敵大宮島=対シ、同日(2 dx 24) 松丸ヲ 松丸ヲシテ、松丸ハ松丸、松丸ヲシテ		2200 以後 毎使用可シ
11		GF=松丸、松丸(松丸、松丸) 松丸ハ松丸、松丸ハ松丸、松丸ハ松丸	35± 3F	

19-7

277

18? 針巻丸 12月22

17	0230	✓ 掃部丸 (A 3145) のハジメP200 北方60' 附近に沈没、雷轟ヲウケ		沈没
	午前	✓ 針巻丸の沈没は、陸軍部及 敷設艇之協同攻撃の結果		多量の油乳泡ヲ湧出セル
	夜	✓ 15日東京博覧会館前第一砲台 (B 851) 小型機銃共他、父島西北方に沈没	太平洋 横断	被害沈没の甚多
		NSF 3KF = 対艦戦闘 = 固守 + 50' 以上在留 邦人、引揚ヲ命ジ		
18	0705	✓ 日青丸 (A 3178) 陸軍部砲台 (大砲 等搭載) の父島、NW 150' 附近に沈没		沈没
		沈没の被害ヲ受ケ		
		大砲等 = 延 700 以上		
		大砲等 = 大及小艇艇止揚ニ見送台 (大 砲台北西岸) 附近 4-7 次撃沈シ		沈没即略上陸 = 対艦攻撃ヲ受ケ
		✓ L 400 丸 (C 油 5244) の中央部		沈没
		に沈没シ、雷轟ヲウケ		機銃並油 云々 範囲 = 拡大セル
	0659	✓ CD 4 の父島北西方に沈没、日青丸の残骸		沈没 甚多
		沈没の被害ヲ受ケ		
		母島に沈没、機銃並油 云々 範囲 = 拡大セル		
		母島に沈没、機銃並油 云々 範囲 = 拡大セル		
19	0430	✓ 父島母島 = 夫々 B 24 x 3 米袋		母島に沈没、機銃並油 云々 範囲 = 拡大セル
	1217	✓ 艦艇本隊 (高射機 敷設) のマラ 西方面に沈没、雷轟一本 (雷艇) ヲ受ケ	165 GKF	機銃並油 云々 範囲 = 拡大セル
	1447	✓ 父島北西方に沈没、雷轟ニシテ		大砲、乳泡ヲ湧出セル、甚多
		CD 4 の機銃等ヲ受ケ		沈没
		加ニ陸軍部砲台、報告ニ依リ、マラ 西方面に沈没、雷轟ニシテ		1185 (1155 GKF) 沈没セル
20	1400	漸次作戦 = 母島、協力一件		見知機銃、結果 (敵艦) 南西に沈没
	1850	父島 = 夫々 B 24 x 3 米袋		
	1905	母島 =		沈没 = 甚多
		海陸軍航空部隊、協同攻撃、母島に沈没、雷轟ニシテ		
		母島に沈没、雷轟ニシテ		
	0730	敵の大砲等 = 対艦戦闘 100 以上、上陸 用機銃 300 以上、上陸開始		多量の油乳泡、沈没セル
		沈没の被害ヲ受ケ、母島に沈没、雷轟ニシテ		沈没 = 甚多

19-7

213

0300

0730時	其ノ主カ、明石湾方面ニ上陸ヲ企圖シ、艦砲射撃ヲ行フ。下ニ、Tx約50ノ戦車小舟艇多ク、以テ明石西方面見晴山(アサヒ山ト稱ス)向ニ上陸開始。陸軍情報ニ依リ、ハ夕刻迄ニ全方面ニ上陸シ、敵軍約150名及1.5D一部隊ヲ撃退シ、明石方面ニ出中。	予想上陸兵1連地ヲ踏化シ、陸軍部隊ヲ編成シ、傷病者等ヲ洞窟ニ避難セシム等故上陸ニ備ヘ、万慮ヲ加ヘ、期シテ、土氣ヲ昂揚シ、シテ、
0800時	別ノ敵、一部、Tx約30隻ヲ多ク、艦砲射撃ヲ行フ。暴風雨降リ、下ニ、200隻以上、上陸用舟艇ヲ以テ、明石西方面見晴山(アサヒ山)向ニ上陸ヲ開始シ、其ノ一部、夕刻迄ニ、有羽山(明石西、南東2km)ノ中腹ヲ、進出ス。	敵上陸部隊、リフ附近ヲ、敵陣内ヲ踏踏シ、後1200頃、上陸始行シ、海岸防備、各種火砲並ニ水際射撃等、奮然トシ、此ノ敵ニ、29Dノ砲列、主力ヲ及連ヲ加ヘ、以テ、夜11時、主力ヲ以テ、夜襲ヲ決行シ、見晴山附近、2ヶ大隊、外ニ、大ニ、戦果ヲ得ス。目下見晴山軍側、三又路、Vp、サ、高地ニ、海向海岸ノ南、1.5km附近、高地ヲ、連シ、線ヲ、在、保、守、中、
夜	明石西方面、敵ニ、対シ、1ヶ大隊ヲ、以テ、頻りに、砲撃シ、敵ノ、侵入ヲ、阻止シ、以テ、夜襲ヲ、決行シ、大見、島、第一、中、隊、海軍各部隊、陸軍部隊、ヲ、編成シ、同地区ヲ、防衛中、一、中、隊、ヲ、陸軍部隊、ニ、混入シ、夜襲ニ、参加シ、	敵、大勢ニ、シテ、其ノ、砲撃ヲ、得、不、大隊、ニ、
22	敵、上陸用舟艇、2隻、被、撃、沈、シ、以テ、揚子、ヲ、揚、子、ヲ、行、進、中、	敵、大勢ニ、シテ、其ノ、砲撃ヲ、得、不、大隊、ニ、
pm	敵、上陸用舟艇、2隻、被、撃、沈、シ、以テ、揚子、ヲ、揚、子、ヲ、行、進、中、	
建		
23	朝 早朝	大島、ヲ、以テ、北、西、部、ニ、上、陸、
0500時	敵、T=Pr、船、ヲ、以テ、13x4、ex、2、dx、7、砲、撃、出、シ、	敵、力、所、在、部隊、ニ、T=Pr、砲、方、向、ニ、対シ、
0600時	T=Pr、方、向、砲、撃、中、15cm、水、平、砲、台、ノ、威、力、ヲ、露、	敵、力、所、在、部隊、ニ、T=Pr、砲、方、向、ニ、対シ、
0900時	T=Pr、方、向、砲、撃、中、15cm、水、平、砲、台、ノ、威、力、ヲ、露、	敵、力、所、在、部隊、ニ、T=Pr、砲、方、向、ニ、対シ、
1045	T=Pr、方、向、砲、撃、中、15cm、水、平、砲、台、ノ、威、力、ヲ、露、	敵、力、所、在、部隊、ニ、T=Pr、砲、方、向、ニ、対シ、
1600時	後、続、部隊、尚、上、陸、中、一、中、隊、ヲ、以テ、	敵、力、所、在、部隊、ニ、T=Pr、砲、方、向、ニ、対シ、
1400時	ヤ、フ、ヲ、以テ、127、車、装、付、ノ、4、ヲ、以テ、	敵、力、所、在、部隊、ニ、T=Pr、砲、方、向、ニ、対シ、
1130時	ト、フ、ヲ、以テ、127、車、装、付、ノ、4、ヲ、以テ、	敵、力、所、在、部隊、ニ、T=Pr、砲、方、向、ニ、対シ、

197

0301 274

		西加州方面敵KaBの共1船停泊ヲ(停止)通信傍聴ニ依リ一部偵察近海乗船中ノ最大トシ		
30	0210	マニラ 24 29カニ。向テ船中ノ、國津丸(B油10.026ト空船)ハ、全一梅南船ヲ撃シ、常連ヲ殺シ	GF	沈没
	1530	敵船艇約30隻ヲマニラ(マニラ船部北端0-20S 132-12E)ニ集結共、一部ハ上陸セル様ヲ察ス		
	0945	AF 24 今到全軍ヲ章中突進セテ不救消息報、處理完了之ヲ連絡シ、上ノ、最後ヲマニラ		マニラ島「全軍」船中停泊中、AFヲ先頭トシ、全軍突進大部ハ沈没セルトシ
	マニラ	マニラ島西岸船部北端、報告ニ依リ敵ハマニラ島西側断崖縁迄進出シ、一部ハマニラ島中央ニ直侵入セル		kgハ、マニラ島力200カヲ集結シ、マニラ島方ニ於テ又ニ敵ヲ攻撃シ、マニラ島トス
31		29日官報ヲ出捲クマニラニ向テ船中ノ、艦隊部隊共、他輸送ノ16隻船團(後工艇6隻)0330頃進路敵上、撃退ヲ受テ		沈没 吉野丸 萬光丸 扶桑丸 吉澤丸 神雪丸 第一小隊丸 237丸 船団ハ一時ハマニラ島(北西端)ニ解散
		敵上押寄せ、海成 CDx6		ルソノ海峡方面敵上押寄せ
		対空ヲ集中(1580+)協力		以来未ダ射撃、或撃退等ハ至ラズ
	2100頃	WR 24 マニラニ向テ船中ノ、天心丸(A'油5061ト)ハ、1030頃島S端附近ニテ敵上ノ常連ヲ殺シ		天心丸沈没
船舶被害記：敵機攻撃結果 (7月分)				
		沈没	損傷	合計
	隻	隻	隻	隻
△	29-179.2 (39-170.8)	6-35.0 (8-49.4)	95-214.2 (49-220.2)	
▽	8-16.0 (15-52.7)	1-0.5 (6-27.0)	9-16.5 (21-79.7)	
♀	0-0 (0-0)	1-1.4 (2-7.2)	1-1.4 (2-7.2)	
操縦	1-2.3 (3-7.3)	4-12.6 (7-30.3)	5-14.9 (10-37.6)	
計	48-197.5 (57-230.8)	12-49.5 (23-113.9)	60-247.0 (80-344.7)	
A	18-53.3 (26-97.2)	3-13.0 (8-50.1)	24-66.3 (34-147.3)	
B	15-91.8 (17-84.5)	4-16.4 (7-27.4)	19-108.2 (24-111.9)	
C	15-52.4 (14-49.1)	5-20.1 (8-36.4)	20-72.5 (22-85.5)	

19-7

(1) 油槽艇ハ8隻(43,300ト)
(2) ()内ハ前月分

276

臨時軍事費歳出

支拂豫算額請求書

第

號

科 目	金 額	事 由
臨時軍事費		
臨時軍事費		
西垂丸		
1944夏 P2#2 抱合カニ		
作果、作威、ヤ号卷ニ		
GKF = 重配	GKF = 12、	ニテ 2
GODOT、10	不印5米	(19)

0304 277 ~~10~~

